

FIDIC News July 2010

訳責: 国際活動委員会 IFI 分科会

脚注: この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

A. 活動(FIDIC -Activities)

A.1 イノベーションプログラム管理の重要性が示される (Managing Innovation programme shows great depth)

CE 業界(コンサルティング・エンジニアリング業界)の最高のイベントである FIDIC 大会の 2010 年大会は 9 月 19 日から 22 日にかけて驚愕のインド、ニューデリーで開催される(www.fidic2010.org)。3 日間に亘る本会議、セミナー、ワークショップでは以下の内容が検討される。



1. CE 業界はどのようにイノベーションのニーズに responding しているのか。
2. 協会はどのようにイノベーションの結果を扱っているのか。
3. イノベーションをプロジェクトのレベルから、会社、協会、業界、社会全体までのすべてのレベルにおいて確実に正しく管理するために考案された手法。

CE 業界が数多くの難局に直面している中で、より自信をもって前進していくため、新しいトレンドと新しいツールを完全に理解し、経験を共有することは極めて重要である。民間・公共両セクターの幅広い分野からの国際的講演者が、彼らの考えと経験を披露することになっている。そのビジネスプログラムは、“プロジェクトにおけるイノベーションの実現”をテーマとした本会議から開始する。Dr. Srikumar Banerjee(原子力委員会委員長、インド)、Harrie Noy(Arcadis CEO、オランダ)、Heikki Pikkarainen(Poyry M.C. 社長、フィンランド)、Mangu Singh(デリー交通公社総裁)が、コンサルティングエンジニアおよび彼らのパートナーがイノベーションの必要性に対しどのように応じているかを説明する。

会場は大会用に指定された主なホテルに近く、大統領官邸とインド門にも隣接したニューデリーの最も美しい地区の一つ、ルティエンス・デリーの戦略的に重要な場所に位置している。本大会の目玉は、FIDIC 契約約款のセミナー、広範囲にわたる若手専門職プログラム、同伴者のために入念に選ばれた一連の観光である。インド政府は本大会を開会するにあたり、インド大統領であり貧困層支援で有名な Smt. Pratibha Devisingh Patil (写真参照)の出席を予定しており、大統領自らがこの開会を宣言する予定である。

A.2 メキシコ協会が 25 周年を祝う(Mexico celebrated 25th anniversary)

FIDIC 理事会は、インフラ開発におけるエンジニアの役割に焦点を合わせた CNEC-メキシコ 25 周年会議に参加した。新たに選出された CNEC 会長 Mauricio Jessurun Solomou (写真右。左は FIDIC 会長 Gregs Thomopoulos)は、FIDIC と FIDIC 会員間の親密な協働作業について熱く語るとともに、協働作業の新しいオプションを提供したラテンアメリカでの増加しつつある機会について強調した。このメッセージは、チリの Rene Ureta Quintana (新たに選出された FEPAC 会長)によってさらに強調された。FIDIC は、中央およびラテンアメリカ諸国の入会または



再入会を奨励するために懸命に取り組んでいる。そのため、FIDIC はこの重要な地域での協会活動を強化している。アルゼンチン、チリ、コロンビア、エルサルバドル、パラグアイ、ペルーからはポジティブな反応があった。

ベネズエラとブラジルはその数日後、MA(会員協会)として再入会の申請を行った。2010 年 7 月下旬に会員に回覧された 2010 年の GAM(総会、ニューデリー、9 月 22 日)議事次第案で告知されている、他の新しい入会予定団体は、トリニダードトバゴの建設業界の合同諮問委員会(準会員)、ウズベキスタンコンサルティング・エンジニア協会(正会員)である。

B. 事業展開(Business-Development)

B.1 FEPAC ラテンアメリカの円卓会議は多様な取り組みを模索(FEPAC Latin America round-table painted a mixed picture)

FIDICも出席したCNEC - メキシコ25周年記念式典が開催され、この中でFEPAC(中南米アメリカコンサルティング・エンジニア連合)により組織された円卓会議において、ラテンアメリカ諸国のCE業界の課題と実力について再検討がなされた)。この会議中にFEPAC会長に選出されたチリのRene Urete Quintana(写真)は、「チリで最近起こった地震の被害の影響は人口の80%に及んだ。しかし建築基準のおかげで486人の死者で済んだ」と報告した。予算がインフラの緊急復旧に執行されたために、一部の予想に反して、地方業界は利益を得られていなかった。また、FEPAC会長Angelo Vianは、「ブラジルでは来年、巨額の資金投資(9千億ドル)が想定されている。これらのうち6千億ドルはインフラの維持管理に必要である」と報告した。CNEC-メキシコの会長 Dr. John Del Angel Reyesによれば「業者は値段で選ばれる傾向があったにもかかわらず、CE業界の売上は毎年10%増加している。この状況はメキシコでは繰り返し生じている」。メキシコは優良投資対象国として19位まで落ちたが、4%のGDP成長があるので9位に返り咲くと予想されている。ただし、注目すべき点として、公共部門のインフラ建設能力は低下しており、提案された国家インフラ計画は行き詰まっている。同様に、コロンビアの法律ではインフラ計画の品質には優先度が与えられていない。エルサルバドルでは、2009年に30億ドルまで増えた国家財政赤字により、年間投資額が3.5%減少した。CE業務の需要も同様に減少している。ここにおいても、最低入札価格採用を義務付ける法律は変える必要がある。ペルーの経済は長期に亘って安定成長しており、GDP成長率は2009年には一旦1%下がったが、今年は6%に跳ね返ると予測されている。ベネズエラでは、政府の政策に伴って物価上昇率が12%になっており、今後30%まで増加すると予想されている。このため多くのCE企業が国を去った。石油輸出に依存していないこの国の144のCE企業は深刻な影響を受けた。このCE産業の頭脳流出の回復には20年はかかるであろう。



C. 実務(Business-Practice)

C.1 「ベスト調達手法賞」の設置(Best practice procurement award launched)

Business-Practice(最適な実務)の方法を認識してそれを組み入れた調達手順を用いることは、業務の品質を確保するために必要不可欠である。USIC-スイスは2010年の6月、初めての「ベスト調達手法賞」をナフェルという町の周辺のバイパスの調達を称えて、その地方自治体に授与した。その表彰においてUSICは、「ゲマインシャフト総会の直接投票(写真参照)で有名なグラリスという州は、品質に基づいた選定を前提とした調達手順を実施した。」と述べた。重要なのは、調達文書の明瞭さ、そしてコンサルティングエンジニアの職務に対する業界ガイドラインとの整合性である。審査委員長を務めるSWRスイスのPeter Rauchは、FIDICの業務委員会がそれに相当する国際的な賞を立ち上げることに對して、支援を約束している。その挑戦は、民間と公共部門双方の発注機関が参加することを確実にするであろう。



D. 契約約款 (Business-Contracts)

D.1 対話型入札図書 (Interactive bidding documents)

米州開発銀行は、対話的に文書を作成するためのウェブ上のシステムであるオーベオンフォーム (www.orbeon.com) を利用した対話型入札図書の開発を支援した。アジア開発銀行は、つい最近そのツールの採用に同意した。また、アフリカ開発銀行も現在検討している。このツールは、ユーザが適切な選択をできるよう促し、重複を避け、間違いを最小限に抑え、最後にワードやPDFの文書を出力する。他の利点は準備時間の削減、基本条項改訂の簡易化と参照の自動化である。このツールの適用を希望する機関は、www.rdm46.webs.com を参照ください。FIDIC はこのツールの適用性について検討している。ひとつ目は、ツールとして、契約約款の一般条項のレイアウトと調和し、完全に書式に合ったファイルを出力して契約文書を完成させることができるかどうか。ふたつ目は、ユーザが特記事項を一般条項の中にひとつの文書として組み入れて、一般条項と同じ外見と雰囲気を持ち、完全に書式に合った文書を作ることができるかどうかである。

D.2 先進的プロジェクト実施のための契約約款 (Contracts for advanced project delivery)

中国における国際金融機関出資のプロジェクトにおいては、FIDIC New Red Book 1999 年版および近年の FIDIC Red Book 国際融資機関 (MDB) 版のが広く使用されている。これに相当する中国の契約約款は、中国建設部および中国国家工商行政管理総局により刊行された、現在第二版の建築作業契約約款 (GF-1999-0201) である。これらには地域の状況に合わせた修正版もあり、また、他の中央省庁によって訂正された版も出されている。より先進的なプロジェクト納品システムを求める公共と民間両部門の発注機関は、FIDIC New Yellow Book 1999 年版 (FIDIC プラント及び設計施工契約約款) や、FIDIC Silver Book 1999 年版 (EPC ターンキー契約約款) を用いている。中国は世界レベルのベストプラクティスに追いつこうとしており、設計施工とターンキー契約約款の準備を進めている。これらの国家標準契約約款は、中国の調達法に直接統合されることが期待されるが、取り込みに関しては、要求される品質と課されるリスクとのバランスによるであろう。その一方で、国際融資機関もまた先進的な納品システムをより積極的に利用する方向へ傾いている。欧州復興開発銀行は 2009 年に、設計施工の統一入札図書を 2010 年に出版すると発表し、アジア開発銀行 (ADB) は設計施工とターンキープロジェクトのための標準入札書を持っている。彼らは、FIDIC Orange Book 1995 年 (設計/施工/タンキー契約条件書) を利用している。FIDIC はまた、FIDIC プラント及び設計施工契約約款を MDB 版建設契約約款に対応させるために、これを補完する特記条件を公表した。MDB 統一設計施工契約約款の完成に向けた議論が MDB との間で現在進行中である。

E. 協会活動 (Industry-Representation)

E.1 ヨーロッパでの FIDIC 協会活動 (Representing FIDIC in Europe)

FIDIC 会長である Gregs Thomopoulos と同専務理事である Enrico Vink は、ヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合 (EFCA) の年次会議に出席した。当会議では、FIDIC 会長と EFCA 会長である Panos Panagopoulos (写真左、右は Gregs Thomopoulos) が多くの FIDIC 会員協会の意見を集約した新たな協力協定に調印した (FIDIC/EFCA 間の協定書)。この協定は、ヨーロッパでの各種活動を効率化することや、ヨーロッパで EFCA が FIDIC を代表し、両者の連携を可能にすることを目標としている。さらには、特にヨーロッパ委員会との関係で、協力作業の密接な管理や、より FIDIC を代表することも視野に入れている。2010 年 6 月 22 日に開催



された常務理事会において、2010 年 9 月までに更新された優先事項を考慮して、事業や将来の計画を通じて各種活動を推進することが承認された。主要な事項としては下記のものが挙げられる。

- ・ 取り組むべき課題に関して相互に呼びかけを行う。
- ・ EFCA の主な役割は、政策やビジネス実務に関する事項とする。
- ・ 委員会では相互代表体制をとる。
- ・ ヨーロッパの各種組織との会議は共同で企画する。
- ・ FIDIC、EFCA 両方の通常年次総会で詳細な報告を行う。

F. イメージ (Industry-Image)

F.1 オーストリアは土木工学 150 周年を祝う(Austria celebrates 150 years of civil engineering)

オーストリアは恐らく世界で最初に正式に土木技術者を認知した国であり、その 150 周年を祝っている。数カ月に及ぶ特別行事の一環として、会議が 2010 年 6 月 17 日と 18 日の両日、ウィーンで開催された。一連の行事は、公認エンジニアリングコンサルタンツ連盟 (BSI) の国別組織の専門機関である国家エンジニアおよび建築家評議会 (BAIK) とオーストリアの CE 業界を代表するオーストリアコンサルティング協会 (ACA) が協働して実施している。「土木技術-公約の順守」というテーマの元に、政治家や一般市民などを対象にして生活の質を向上させるエンジニアの役割についての講演が行われた。FIDIC の会長を務める Gregs Thomopoulos は、「将来の動向と挑戦」のパネルディスカッションに参加した。ディスカッションに先立って BAIK 副会長であり、BSI の議長かつ ACA の会長でもある Josef Robl が、話題を提供した。Robl は会議中に開かれた記者会見で、プロジェクトの成功は最高のコンサルタントの選定に懸っているが、より大きな革新が必要なインフラが要請される場合にさえも、大抵の場合価格重視の選定が行われていると指摘した。それでもなお、現在の業界の不景気にもかかわらず、CE 業界の未来には希望もある。FIDIC 会長と、EFCA 会長である Dr Panos Panagopoulos は、予算の落ち込みを乗り切ろうとして奮闘している他の国々での経験について、意見を述べ合った。世界的なインフラ需要の高まりに応えるために、財務制限の緩和が極めて重要であることが述べられた。

G. 品質 (Principles-Quality)

G.1 最低価格に基づいた選定についての方針を公表 (Policy on lowest price-based awards released)

欧州連合 (EU) 指令の下では、公共部門の役務契約は、経済的に最も有利な入札結果、もしくは最低価格としなければならない。例えば、サービス範囲や価格が交渉で決まるような品質・技術による選定 (QBS) 手順は利用できない。現在の選定方法が採用される以前は、技術提案書の評価点が 80 点を超えた場合にのみ、事前資格審査に合格した企業の見積書が評価される 2 封筒方式であった。さらに悪いことには、EU 新規加盟諸国は最低価格だけを選定基準にする傾向がある。EFCA は、強い表現を用いた政策声明を会員へ配布してコメントを求めているが、その中で以下のように主張している。



「現行の EU 指令の下では、発注者が実績に基づいたコンサルタントの事前資格審査を行い、最も経済的に有利な入札結果を採用することにして、その経済的な利点を評価する基準を正確かつ詳細に説明しない限り、品質は適切な水準に達しない。」

この声明の目的は、最も安価なコンサルタントは、オーナーの総費用の面で総合的に最高の価値も、最良の結果もたらさないことを、「教養ある」発注者に納得してもらうことである。現在更新作業中の「FIDIC の品質に基づく選定 (QBS) ガイド (新規項目参照)」は、この重要なメッセージを補足支援している。

H. 倫理 (Principles-Ethics)

H.1 腐敗行為禁止の法制化が、世界的に進んできている (Anticorruption legislation becomes increasingly global)

アメリカの海外腐敗行為防止法 (FCPA) による制裁額は、2009 年の 6.27 億ドルと比較して、2010 年初頭の数カ月で 12 億ドルに膨れあがっている。2010 年 7 月 15 日に可決された金融改革法 (写真は同法に署名するオバマ大統領) では、従業員の内部告発者が制裁金額の 30% まで受け取ることができることになっており、政府の取り組み強化が期待される。企業の自己告発に対する同様のより強力なインセンティブとして、2010 年暮れに向けた世界銀行の腐敗禁止自発的開示計画が公表された。この現象は、腐敗行為禁止法が国際的に広まり、開発銀行による締め出し強化と同時に進んでいる。例えば、2010 年 10 月に施行された新しいイギリスの賄賂に関する法律は、断片化していたそれまでの法律を置き換え、FCPA と調和するとともに、それを凌ぐものである。この傾向が続くと、国際的に活動する企業は、彼らの母国だけではなく、全ての関連法に従って仕事を行うことを保証するため、適用可能なあらゆる腐敗行為防止策検討しなくてはならなくなるだろう。新しいイギリスの条例はまた、FIDIC の公正管理システム (FIMS) のような、賄賂防止の失敗により発生する違反を防ぐ「適切なプロセス」を構築して機能させることを、現在、企業に要求している。



I. 持続性 (Principles - Sustainability)

I.1 持続可能な建築物に関する測定基準の強化 (Sustainable building metrics consolidate)

複数のグリーン建築物評価機構で組織される SB アライアンスは、世界グリーンビル評議会 (WGBC) と国連の持続可能な建築物と気候イニシアティブ (SBCI) とともに、建設の進んだ地区での建築事業におけるエネルギー消費量と温室効果ガス排出量の報告手順を定める共通実施要領を構築するための了解覚書に署名した。建築物に対する共通の測定基準として最初に準備されるものは、共通二酸化炭素測定基準である。米国 GBC は、LEED 評価機構と密接な協力関係にある。GBC イタリアは最近 LEED の評価システムを採用し、EU で最初にこれを採用した組織となった。FIDIC が属している国連のイニシアティブと主だった評価機構のこのような協力によって、二酸化炭素とエネルギーの測定基準の開発が進められている。

J. 行事 (Announcements-Events)

J.1 FIDIC 会議

2010 年 9 月 17-18 日 : 第 4 回 IBA 会議「建設プロジェクト」(隔年開催)、ブリュッセル

2010 年 9 月 19-22 日 : FIDIC2010 ニューデリー大会

2010 年 9 月 19-22 日 : FIDIC アジアパシフィック 2010 地域会議 (FIDIC2010 ニューデリー大会と同時開催)



J.2 FIDIC 国際トレーニング・プログラム

2010 年 9 月 15-16 日 : FIDIC-コーナーストン社ワークショップ (契約約款)、ヨハネスブルグ

2010 年 9 月 30 日-10 月 1 日 : FIDIC-コーナーストン社ワークショップ (クレームと紛争)、ブリュッセル

2010 年 10 月 5-6 日 : FIDIC-Tecniberia 社-Lambal 社集中コース (契約約款)、スペイン語、マドリード

2010 年 10 月 11-12 日 : FIDIC-ECV 社コース (契約約款)、ブリュッセル

2010 年 10 月 17-18 日 : FIDIC-ECV 社コース (契約約款)、アブダビ

2010 年 10 月 18-19 日 : FIDIC-コーナーストン社ワークショップ (契約約款)、カザフスタン

- 2010 年 10 月 19-20 日 : ICC 仲裁裁定会議、ドバイ
2010 年 11 月 22-23 日 : FIDIC-ECV 社コース(クレームと紛争)、アブダビ
2010 年 12 月 1-2 日 : FIDIC 契約約款ユーザ会議、ロンドン

J.3 よい時期に準備を進めている(Taking stock at a crucial time)

2010 年 6 月 23 日から 25 日にかけて北京で開催された FIDIC2010ASPAC 契約約款ユーザ会議では FIDIC 契約約款起草作業グループと専門家が最新の改定動向、特に 2010 年 6 月に改定されたばかりの新しい FIDIC Red Book MDB 版(建設工事の契約条件書 国際融資機関版)について、ユーザに対して丁寧に説明を行う機会を持つことができた。中国は設計施工とターンキー契約約款を導入しようと計画しているので、この機会は時期を得たものであった。MTEC オーストラリアの Donald Charrett が MDB 版セッションの議長を務め、最終版に取り込んだ変更について概説した。アジア開発銀行からの講演者は、彼らが資金提供するすべての国際的な競争入札プロジェクトでは MDB 版の使用を義務付けることについて説明した。引き続いて日本からの経験豊かなコンサルティングエンジニアが、国際協力機構(JICA)が資金提供するすべての開発プロジェクトでは MDB 版を使用していることを説明した。特に興味深かったのは、その入札図書記載例と一緒に使う JICA の「片務的契約のチェックリスト」の大まかな紹介であった。JICA は FIDIC と同様に、建設契約におけるリスクの分担は、片方へ押し付けてはならず、双方にバランスしていなければならないと考えている。そのほかに会議で目立った事項は、主要な業務を網羅した 1999 年版 FIDIC 契約約款一式の改定進捗状況に関する報告と、FIDIC 建設下請け契約約款の試験版に対する意見の最終取りまとめに関する報告であった。これらの報告の目的は、ユーザに彼らの経験を披露し、望ましい変更についての見解を説明することであった。次回のユーザ会議は 2010 年 12 月 1 日および 2 日の両日、ロンドンで開催される。

K. 報告 (Announcements Notices)

K.1 理事会では事務局スタッフの再構成、会費および FIDIC 大会について焦点が当てられた (Executive Committee focuses on staff, subscriptions and conferences)

1. CNEC-メキシコの 25 周年記念式典に合わせて 2010 年 5 月 23 日と 24 日の両日にメキシコシティで開催された FIDIC 理事会では、以下の事項に焦点が当てられた。
 - 2011 年初頭の現事務局長の退職に伴う事務局員を再構成する計画
 - 新しい会員
 - 会費検討委員会の審議の結果
 - FIDIC 大会のプログラムと準備
 - 財務報告
2. 2010 年 9 月 22 日にニューデリーで開かれる 2010 年の総会(GAM)で発表される予定の 2009 年決算は大幅な黒字を計上し、監査報告書が承認された。また、均衡の取れた 2011 年の予算について合意された。
3. 事務局スタッフとして、商業ディレクターと実務マネージャー各 1 名の募集を直ちに行う。
4. すでに配布されている GAM 議事次第案を通じて会員協会へは報告されているが、ABCE-Brazil の再入会とトリニダードバゴの準会員としての入会の申請があった。
5. 3 つの新規協賛会員が承認された (ECV、Keating Chambers と PS Consulting)。
6. GAM 議事次第案では、最小限に押さえたメンバー協会(MA)年会費 (2,000 スイスフラン、もしくはそれ以上

の各国毎の会費、いずれも控除なし)を提案している。

7. 2010 年のニューデリー大会に向けたエキサイティングな計画(www.fidic2010.org 参照)とともに、2011 年のチュニス大会に向けた計画が着々と進められている。また、2012 年のソウル大会のテーマが合意された
8. FIDIC2013 バルセロナ”100 周年会議”の委員会構成が最終決定され、パートナー組織を通じたイベントの推進方法について合意された。
9. アラビア語圏、アフリカおよびアジア太平洋の FIDIC 地域グループの活動と役割は、依然として重要な問題である。ここではまず、事務局を補強統合する主体性の確保が優先事項である。
10. EFCA との新たな協力協定書について確認された。
11. CNEC-メキシコの祝賀会の間に持たれたFEPACとの会議では、中央アメリカとラテンアメリカにおける FIDIC の役割を強化することが要請された。

K.2 国際協力と委員会活動のレビュー(International cooperation and committee activities reviewed)

2010 年 5 月にメキシコシティで開催された FIDIC 理事会では、国連国際商取引法委員会(UNCITRAL)や、世界工学会連盟の賞やイベントへの参加、開発銀行との今後の会合などの重要性の高まりを受け、国際機関や MDB との関係についていつものように注目が集まった。2010 年にニューデリーで開催される FIDIC 大会には、開発銀行の代表者が招待されている。

委員会報告書には、契約約款、ビジネス実務、公正管理、リスクと責任、そして持続可能な開発委員会の各作業グループが活発に活動していることが報告された。これらの作業グループは、現在以下に示すような文書の作成や更新を行っている。

1. 1999 年版 FIDIC 建設契約約款
2. 工事下請契約約款
3. 設計・施工・運用(DBO)契約ガイド
4. 調達手順ガイド
5. コンサルティング企業間共同企業体契約の標準約款
6. 下請けコンサルタント契約の標準約款
7. 業務範囲の定義ガイド
8. 安全設計ガイド
9. 品質に基づく選定に関するパンフレット
10. FIDIC 公正管理システム運用基準
11. 賠償責任保険の限界
12. プロジェクト持続性管理基準
13. 気候変動への業界の取り組み方針

FIDIC 標準契約約款の改変ならびに講師や研修業者の認定に関する許可を管理する必要性の高まりを受け、委員会が特別パネルとして更に関与していくことが合意された。

理事会の前には、2010 年 6 月の FIDIC Red Book MDB 版(建設工事の契約条件書 国際融資機関版)の公表、「発注者のベストプラクティス賞」設置に関する原則の合意、および協



賛会員 Keating Chambers との能力開発スポンサーシップに関する合意などの特別な事項があった。

K.3 カナダ協会がネットワーキングの機会を開拓 (Canadian association develops networking opportunities)

ACEC-カナダは、FIDIC 大会が会員協会にとって、会員企業の海外事業展開を支援する理想的な機会であることを示した。具体的には、インド政府による大規模なインフラ投資を受け、ニューデリー2010年大会は、インドでのビジネスに関心のあるカナダ企業に対してユニークな機会を与えることになる。ACEC-カナダは、カナダ輸出金融公社とカナダの外務国際貿易省と協働し、大会に参加する ACEC-カナダの会員企業のために特別に情報提供とネットワーキングの機会を設けようとしている。これには、情報セミナー「インドでのビジネスの仕方」(2010年9月20日 16-18時)と、在インドカナダ高等弁務官事務所との連携によるインフォーマルなネットワーキング・レセプションおよびディナー(2010年9月21日火曜日の夕方)が含まれている。FIDIC と主催協会である CEAI-インドは、他の会員協会に対しても同様のネットワーキングの機会を設けるための適切な時間や会場の手配を支援することが可能である。

K.4 会員協会からのお知らせ (Members announcements)

2010年8月18日:タスクグループ・アップデート、パリ

2010年8月24日:契約約款委員会ミーティング、ブダペスト

2010年9月16-17日:理事会、ニューデリー

2010年9月18日:事務局長・事務局員会議、ニューデリー

2010年9月19日:会員協会会長会議、ニューデリー

2010年9月22日:FIDIC 総会、ニューデリー

2010年9月22日:委員会ミーティング、ニューデリー

以上